

『ぼくのかなぞら夢』

小六年 木下 瑛斗

ぼくの夢は、テニスで県大会に出場することです。きっかけは兄が中学生の時に出場し、応援に行ったからです。兄は途中で負けてしまいました。僕はしっかりと練習を積んで、兄より強くなりたいと思いました。

そのために日頃から壁打ちをしたり、筋力トレーニングをしたりするつもりです。僕は腕の力があまりないので、腕立て伏せやけん垂をして、まずは腕の力をつけたいと思います。目標にしている選手は錦織圭選手です。錦織選手のように安定したボールを打てるようになりたいです。

中学生になったら、失敗を恐れず、勉強も部活も最後まで力一杯がんばり、県大会出場の夢を果たしたいです。また、試合などで人と接する機会も増えるので、誰にでも礼儀正しく優しくしたいです。



誰にでも礼儀正しく優しくしたいです。

中学生になっても頑張ります

瑛斗へ

卒業おめでとう。同級生が二人と少なくて、他学年の人と協力しながら、様々な経験をするのができたと思います。中学生になっても、優しい気持ちを忘れずに、また、失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦してください。

お父さん 母さんより



『ぼくの将来の夢』

小六年 廣瀬 莞多

ぼくの将来の夢は、サッカーで日本代表に選ばれてワールドカップに出場することです。そのわけは、世界の様々な選手達のプレーを見て、ぼくもこんなふうになりたい、と思ったからです。ぼくの目標にしている選手は、清武選手です。相手と対一の勝負で勝てるようなドリブルと、シュートの正確さをまねして覚えたいです。

そのためには毎日身体を動かして体力をつけたり、基本の練習やトレーニングをすることが大切だと思います。

中学校に入学したら、しっかりと勉強や部活をしたり、フォスタというところでサッカーに取り組んだりするつもりです。

そして、難しいシュートやドリブルを練習して夢を実現させ、自分の技がどれだけの通用するのかわかしてみたいです。



莞多へ

卒業おめでとう。六年間、多くの人の支えがあったから、これからの感謝の気持ちを忘れず、一期一会の出会いを大切にしていってね。中学校では、いろいろなことにチャレンジしてね。

母より

『いっ卒業おめでとう』

小六年担任 寛 明子

莞多さん・瑛斗さんとは、昨年の春、先生が赴任してから、たった一年のお付き合いでした。土地柄も学校の様子も分からない先生に、二人は何でもきはぎと教えてくれました。家族的な修学旅行、地域の人で賑わった運動会や文化祭、そして見事に教育長賞をつかんだロープジャンプ大会。あなた達と歩んだこの一年間は大変目まぐるしく、また色鮮やかに心に焼き付いています。運動好きで活発な二人は、気もよく合い、学校を明るくリードしてくれました。中学校でもよい刺激を吸収し、さらに自分に磨きをかけて、それぞれの進む道を模索してください。



『夢・叶う・咲』

中三年担任 水口 拓央

ご卒業おめでとうございます。

あなたと入学式の花道を歩いたこと
あなたと長浜ドームのコートに立ったこと
あなたと教室で腹を抱えて大笑いしたこと
あなたと真剣にぶつかって喧嘩したこと
あなたと雪を見ながら思い出に浸ったこと
あなたの担任としてこの日をむかえられること
すべて優香。あなたがいてくれたからできたことです。心からお礼を言います。ありがとう。

これからは自分の生き方の勉強です。十代、二十代、三十代と大切なことは何かを自分自身に問いかけ、心を磨き強く生きてください。十年、二十年後を楽しみにしています。あらためて、卒業おめでとう。風邪をひかないようにね。



『思い出』

中三年 久保田 優香

私が三年間で一番印象に残っていることは、部活動のテニスです。正直一年生の頃はあまりやる気がなく、土日の部活もしようがなく参加しているぐらいの気持ちでしたが、だんだんうまくボールが打てるようになってくると楽しくて、毎日部活の時間が生き甲斐のような存在になりました。また、私は二年生の夏からキャプテンもさせてもらっていました。私は一人なので絶対なるのはわかっていました。はじめはすごくいやで不安でしたが、今となってはいい経験ができたなと思っています。また、部活をしていた頃は試合が嫌でしたが、引退するともう一度試合がしたいなと思うこともありま。二年生の夏季大会では県大会に出場することができてもうれしかったです。私がこの三年間部活動を通して学んだことは、終わって後悔しても遅いんだということ、あきらめず努力すればきっと夢は叶うということ、高校へ行って何事もあきらめずがんばりたいです。

これから頑張ります!



優香へ

優香、卒業おめでとう。中学校に入学して一人で行動することが多くなり、戸惑うこともあったと思うけど、常に前向きに頑張り本当にたくましくなったね。同級生はいないけど、先輩や後輩、先生方に支えていただき、立派に成長したと思う。杉野で学んだこと、感謝の心を忘れず、目標に向かってがんばれ。頼られる優香であれ(笑)

お母さんより



杉野フォーラムを終えて



二月四日の土曜授業の後に杉野フォーラムが開催されました。保護者がお茶を飲みながらざっくばらんに日頃の悩みなど話し合う機会です。本年度は父親グループ、母親グループに分かれて話し合いました。事前に子ども達をとり、子ども達の本音を聞くことがで

PTA副会長 宮前 美江

きました。その中には「いつもありがとう」や「いつもでも元気でいてね」などとてもうれしい内容のものもありました。中には心に突き刺さるものもあり、話し合っていた父親母親も反省しなければならぬところもありました。子ども達のお願いをしっかりと叶えたいと思いました。

子ども達は年々少なくなっています。子ども達にとって何が一番良いのかをしっかりと考えていきたいと思えます。これからも皆様のご協力をよろしくお願いします。



